

シリーズ
37
よこね
横曾根

心響き合う地区に



横曾根区長
成田正衛さん
(58歳)

■今月の「おじゃまします」—地域情報ネットワーク—は、岩室村の丁度真中に位置し、東西南北360度の田園視野が広がる緑と水に囲まれたすばらしい環境下にある横曾根地区におじゃましてみました。

横曾根地区は、戸数28戸、人口132人で、西は、弥彦・多宝の山脈、春がすみにけむる岩室温泉の街並み。東は、和納地区の息づかいとともに遠く越後連山を眺望でき、まるで自然をそっくり庭に取りこんだような、実にどこかで心なごむ景観が開けます。



横曾根地区の西側を走る広域農道9号線、いまや幹線道である

う」成田正衛さん(58歳)です。

「いやいや、今年なったばかりなのに、これまでご苦労され、立派に地区自治を進めてこられた、前区長さん(成田一雄さん)の方がいいのではないですかね」と謙遜しつつ話してくる区長さん。時代が変わり、お互いが多忙になったために、地区を上・中・下の三つに分け、その範囲から一年交替で区長を出そうという地区での申し合せを決め、その最初の年にこの役を受けた成田さん。久しぶりの出番に気のひきしまる思いがすると笑います。

同地区の自慢は、明治の初年、現代教育の礎を築いた私塾聚石堂を設立し、教育の灯をともした教育者菅井甘露翁で、この心は地区民の大きな誇りとなつて今に受けつがれています。

そのためでしょうか、教育に対する関心は高く、子ども会の地域活動などは親子一体のいわば家庭教育の場となっているほか、青壮年で構成する野球クラブは、スポーツだけでなく地区の活動の主流となっています。また老人クラブは、長い人生経験を生かした生活の知恵袋として貢献してくれるなど、全体としてみて、つり合いのとれた同地区です。

ところで「広域農道9号線が西側に新設されたことで淋しくありませんか?と聞かれるんですが、確かに、このことよって車と人の流れは変わりましたが、生活は静かで安全になつて、何よりでした」とのことです。

変わったといえば、昨年3月に集落開発センターができ、活動の拠点として活発にいろ

んな事業が行われており、毎月行われてきている「講」などもここを利用するようになりました。昔ながらの慣習も少しずつ変化の波がおし寄せてきているようです。

「横曾根神社の通称『蛇松』をわかりますかね、直径150cm位の老松で横曾根のシンボルとなつているんです。小さい頃、弥彦山の頂上からこの松が見えることがうれしくてね。でも最近、チョッと元気がなくなつてしまいました。」と心配そうです。

また、下のはずれには「湯」があつて、これを埋めて美田にしたという開拓物語も聞かせてもらいました。

このように、地区民のまとまりや、すべてにわたつて協力的であるという区長さんの言葉には、人情を大切にするという歴史が伝統になつて息づいているというようにも理解され、何かホッとする温かさが伝わってきます。

「地形的には、変化のないところですが、四季の移ろいは、その時々々に心なごませてくれます。人と人との心だけは失われないように心響き合う地区にしたいですね」と頼もしく話してくれる成田区長さんでした。



地区の守神、横曾根神社

横曾根ミニデータ

人口	男	女	世帯
132人	70人	62人	28世帯

— 弥彦競輪 — 従業員募集

弥彦競輪場では、左記の要項で従業員を募集しています。

①職種：発売窓口業務 ■採用予定人員：女子若干名 ■資格：平成三年四月一日現在で、満四十五歳以下の人

②職種：警備業務 ■採用予定人員：男子若干名 ■資格：平成三年四月一日現在で、満六十歳以下の人

③申込み及びお問い合わせは、各種とも、履歴書(市販のもの)を持参のうえ四月十五日(月)までに、弥彦村役場競輪事業課(☎94-131-111)、又は新潟県四市町村競輪事務組合(☎92-121-111)へお申し込みください。

※なお、試験方法及び試験日は、応募者に直接通知します。

建築確認の届出はお忘れなく

村内の都市計画区域内では、家を新築したり一定面積以上の増築をする場合には、「建築確認申請」が必要です。この届出は、家屋の密集などを防ぎ住みよい環境づくりを進めていくために提出してもらふものですので、お忘れなく。なお建築確認申請についてのお問い合わせは、役場建設課まで。